

# 認知症ケア向上を目指した学習療法導入の試み

沖縄県 和光園 学習療法スタッフ  
大城盛彦  
内間好美 大嶺英樹 具志堅順子  
古堅輝子 金城一二 他

## 【はじめに】

当施設では、認知症高齢者の生活における問題に対して、心身機能や活動・参加などを考慮した適切な認知症ケアを模索し提供している。その一環として、マスコミ等を通して様々な効果が報告されている学習療法を平成20年10月1日より導入した。

学習療法には、利用者の認知機能などへの効果のみならず、スタッフが利用者を理解する、利用者とのコミュニケーションを増加させる、スタッフのケア能力を向上させる、施設全体のケアの質を向上させる、などのスタッフへの効果もあるといわれている。

そこで、当施設における学習療法導入後の、スタッフの変化について検討したので報告する。

## 【方法】

調査方法：学習療法スタッフの意識調査

(学習療法実施1ヶ月後のアンケート・月次検討会)

対象者：学習療法スタッフ15名

## 【結果】

### 1. 学習療法スタッフへのアンケートより

#### 1) 学習療法スタッフの変化

良い変化があった：14 / 15名

- ・利用者をほめることがうまくなった
- ・利用者のことをよく知る事が出来た

悪い変化があった：2 / 15名

- ・自分自身の日常業務が忙しくなった

#### 2) 施設全体の変化

良い変化があった：7 / 15名

- ・利用者への声かけが増えた

悪い変化があった：11 / 15名

- ・学習療法に人手が取られ療養棟の業務が忙しくなった

- ・学習療法スタッフ以外のスタッフの理解が得られていない

### 2. 月次検討会より

- ・利用者の好みや生活歴などを良く知ることができた
- ・利用者のスタッフとの会話が増えた

## 【考察】

学習療法とは、音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、利用者とスタッフがコミュニケーションをとりながら行なうことにより、学習者の認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能など前頭前野機能の維持・改善をはかるものである。

今回のアンケートや月次検討会でのスタッフの意見から、当施設での学習療法導入におけるスタッフの変化を検討してみる。

スタッフが利用者を理解する

「利用者の新たな残存能力を知る事ができた」との意見が多かった。利用者には学習という活動を提供し観察することで、日常生活では気付かなかった生活機能や問題点が確認できたと思われる。

また、スタッフが利用者の情報を交換し共有することで、より多くの身体的・精神的な利用者の状況を知ることができたと思われる。

利用者とのコミュニケーションを増加させる

「利用者とのスタッフの会話が増えた」との意見が多かった。学習療法では、その教材の挿絵を話題にして会話のきっかけを作り出すことになっている。そのため、限定された話題の中から会話を進めていくことで、スタッフが利用者に合わせてコミュニケーションを図る練習になっていると思われる。

また、「日常業務で、利用者を誉めることを意識するようになった」との意見が多かった。学習

療法では、利用者の意欲と自信の回復を促す目的で、学習中にスタッフが、利用者を何度も誉めるようになっている。スタッフが学習中に利用者を誉めることを意識して実践することで、日常の業務にも習慣化されたと考えられる。

スタッフのケア能力を向上させる

スタッフのケア能力については、今回の調査からは判断できなかった。しかし、「利用者の新たな残存能力を知る事ができた」「日常業務で、利用者を誉めることを意識するようになった」との学習療法スタッフの変化の内容から、学習療法にはスタッフのケア能力を向上させる可能性があると考えられる。

施設全体のケアの質を向上させる

施設全体でのケアの質の向上は、具体的に確認することはできなかった。

その理由として、学習療法を開始して1ヶ月という短い期間での調査であった点や、施設全体のスタッフの人数に対して、学習療法スタッフの人数が少なかった点が考えられる。

しかし、「療養棟での利用者への声かけが増えた」などの意見もあり、学習療法スタッフの対応の変化が、他のスタッフに良い影響を与えたと思われる。

また、一方では「業務が忙しくなった」「学習療法スタッフ以外のスタッフの理解が得られていない」など否定的な変化への意見が多くみられた。

その理由として、学習療法スタッフの人数が少なかったこと、学習療法スタッフ以外のスタッフに対しての説明が不十分であったことが考えられる。

これらに対しては、学習療法スタッフの増員を図り、個人や日常業務への負担を軽減していく工夫が必要であると思われる。さらに、学習療法スタッフ以外の療養棟スタッフにも、説明会や研修などを行い学習療法についての理解を深めてもらう努力も必要と思われる。

今回の検討結果からは、スタッフ個人や施設全体でのケア能力や質の向上を確認する事は出来なかった。しかし、学習療法スタッフの変化から、学習療法を継続していくことで、スタッフ個人や施設全体でのケア能力や質を向上させる可能性があると感じられた。また、利用者も学習療法を楽しみにされる方が多く、利用者の認知機能の維持・改善に対しても、今後も継続して確認し、その効果を明らかにしていきたいと考える。